



平成 25 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 関西アーバン銀行
代表者名 頭 取 北 幸二
(コード：8545 東証・大証第一部)
問合せ先 財務企画部長 山崎 康孝
電話番号 06-6281-7000 (代表)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 24 年 11 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,000	百万円 5,500	円 銭 5.37
今回修正予想 (B)	4,800	△6,800	△11.35
増減額 (B - A)	△5,200	△12,300	
増減率 (%)	△52.0	—	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 24 年 3 月期)	10,500	6,272	6.41

2. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,000	百万円 5,000	円 銭 4.69
今回修正予想 (B)	2,000	△7,500	△12.31
増減額 (B - A)	△6,000	△12,500	
増減率 (%)	△75.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	8,143	5,337	5.14

3. 修正の理由

(1) 単体

平成 25 年 3 月期通期の単体業績見込みにつきましては、預かり資産の販売が好調に推移したほか、引き続き経費削減を推し進めた結果、コア業務純益は 260 億円と前回予想通りとなる見込みであります。

一方、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律（金融円滑化法）」の期限到来を踏まえ、当行の金融円滑化に係る対応は従来から全く変更ありませんが、今後の安定的な業績を確保するため、債務者区分についてはより保守的に見直しました。その結果、与信関係費用が 235 億円と前回予想比 70 億円増加する見込みとなり、経常利益は 20 億円と前回予想比 60 億円減益の見込みであります。

また、平成 26 年 3 月から導入される新しい自己資本比率規制（バーゼルⅢ）において、繰延税金資産のコア資本への算入が制限されることから、自己資本の質の向上を目的に繰延税金資産の取り崩しを進めることとし、その結果、当期純利益は前回予想比 125 億円減益の 75 億円の当期純損失となる見込みであります。

(2) 連結

平成 25 年 3 月期通期の経常利益は前回予想比 52 億円減益の 48 億円、当期純利益は前回予想比 123 億円減益の 68 億円の当期純損失の見込みとなります。これらは主に単体業績予想の修正によるものであります。

なお、平成 24 年度の普通株式の配当につきましては、平成 24 年 11 月 14 日に公表しましたとおり、期末配当として 1 株当たり 3 円を予定しております。

また、自己資本の充実を図るため、「自己株式（第一回甲種優先株式及び第二回甲種優先株式）の取得・消却並びに第三者割当による優先株式発行に関するお知らせ」を、平成 25 年度～平成 27 年度を対象期間とする「中期経営計画の策定について」を、本日別途公表しております。

（ご参考 1）単体業績予想（平成 25 年 3 月期）

（単位：百万円）

	前回発表予想 ①	今回予想		増減額 ②－①
		4～12 月実績	②	
コア業務純益	26,000	20,177	26,000	－
経常利益	8,000	9,759	2,000	△6,000
当期純利益	5,000	7,005	△7,500	△12,500
与信関係費用	△16,500	△8,417	△23,500	△7,000
自己資本比率	9%程度	9.40%	8%程度	

（ご参考 2）連結業績予想（平成 25 年 3 月期）

（単位：百万円）

	前回発表予想 ①	今回予想		増減額 ②－①
		4～12 月実績	②	
経常利益	10,000	12,146	4,800	△5,200
当期純利益	5,500	7,867	△6,800	△12,300
自己資本比率	9%程度	9.43%	8%程度	

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上